

# 令和3年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 事業報告

## I. はじめに

昨年につづき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、長崎県障害者スポーツ大会をはじめ、多くの事業が中止を余儀なくされました。

本協会の設立目的に沿い、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整備し、障害者スポーツのなお一層の普及振興を図ることを目的として、障害者の社会参加推進の要となる諸事業に取り組みました。

さらに、近年、障害者スポーツを取り巻く国の施策、社会環境の変化に対応することを目的に、公益財団法人長崎県スポーツ協会へ加盟し、組織の活動のなかで加盟団体との連携を図り、県民障害者スポーツのさらなる普及強化を促進しました。

一方、夏に開催された「東京2020パラリンピック」については、本県で開催された聖火フェスティバル集火・出立式に積極的に参加協力し、大会開催を盛り上げることができました。

「東京2020パラリンピック」においては、協会組織の中で育成強化された3名の選手が活躍し、その雄姿は、県内はもとより国内外に大いにアピールすることができました。

さらに、協会の組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に推進しました。

## II. 総 括

### 1. 会 議

#### (1) 総 会

令和3年6月22日（火）書面議決

- ・令和2年度事業報告について
- ・令和2年度収支決算報告について
- ・令和3年度事業計画について
- ・令和3年度収支予算について
- ・役員を選任について

以上の件、それぞれ決定し承認されました。

#### (2) 理 事 会

第1回 令和3年5月20日（木）

- ・役員の推薦について
- ・令和2年度事業報告・収支決算報告・総会付議事項について

臨時 令和3年5月27日（木）書面議決

- ・定期総会の書面議決について

第2回 令和3年7月19日（月）書面議決

- ・副会長理事の選任について

第3回 令和4年3月17日（木）

- ・服務規程改正（案）について
- ・令和3年度収支補正予算（案）・令和4年度事業計画（案）・収支予算（案）について
- ・令和3年度長崎県障害者スポーツ協会表彰について
- ・総会付議事項について

以上の件、それぞれ決定し承認されました。

### （3）正副会長会

第1回 令和3年5月12日（水）

- ・令和3年度第1回理事会提案事項について協議しました。

第2回正副会長会 令和4年2月25日（金）

- ・令和3年度第3回理事会提案事項について協議しました。

## Ⅲ. 実施事業

### 1. 第21回長崎県障害者スポーツ大会の開催（受託事業）

#### ◎ 目 的

共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障害者スポーツを振興し、障害のある人のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的社会参加と生活の質の向上に資することを目的とします。

#### （1）開催延期、更に中止としました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、県内主要大会、イベント等の開催が中止されるなか、本感染症に関わる社会的状況を総合的に勘案し、開催を一旦秋に延期することとしたが、感染状況の悪化に伴い中止することとしました。

主催者である県から、令和3年4月13日（火）に大会延期の通知が、更に8月27日（金）に大会中止の通知があり、関係機関に開催中止を通知しました。

#### （2）競技種目・参加選手数（申込時）

競技種目	参加者数	競技種目	参加者数
陸 上	283名	フライングディスク	115名
水 泳	61名	ボウリング	129名

競技種目	参加者数	競技種目	参加者数
アーチェリー	10名	ボッチャ	109名
卓球	67名	ユニカール	31名
			合計 805名

## 2. 全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業（受託事業）

### ◎ 目的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とします。

### （1）開催中止

「第21回全国障害者スポーツ大会」が10月23日（土）～25日（月）の3日間、三重県において「三重とこわか大会」として開催される予定でしたが新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から大会開催が中止となりました。

本県の対応は、個人競技の選考会を兼ねる「長崎県障害者スポーツ大会」の開催を中止したものの、全国大会への長崎県代表選手選考会は6月11日（金）に実施しました。

選考の基準は、今年の「かごしま大会」延期により派遣が途絶えた選手の参加意向を優先し、今回中止となった第21回長崎県障害者スポーツ大会の個人参加申込書で「全国大会参加希望あり」の選手うち第19回県大会の成績を参考に推薦されました。

団体競技の全国大会派遣チームは九州ブロック地区予選会が全競技中止となり、参加申込チームにおける抽選で全国大会出場権があたえられました。本県からはソフトボール（知的）と車いすバスケットボール（身体）の派遣が内定していました。

## 3. 障害者スポーツ普及・活性化事業（受託事業）

### ◎ 目的

障害者がスポーツを楽しみ、交流の場をもうけ、健康な明るい生活が促進できることを目的に、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取り組みを行いました。

### （1）障害者スポーツ人材バンク

障害者スポーツ指導者を登録する「障害者スポーツ人材バンク」の運営及びさらなる活用に向けたPR活動を行い、障害者スポーツの活性化を図りました。

#### ① 障害者スポーツ人材バンクの運営

・「障害者スポーツ人材バンク」に3名が登録しました。（現在104名）

#### ② 制度周知のためのPR活動

・スポーツ・レクリエーション教室及び、普及活動等の中で、「障害者スポーツ人材バンク」制度を紹介し、地域スポーツ活動での派遣要請を説明しました。

・登録者の中から、各地域に出向いて活動できる人材を「障害者スポーツ普及指導員」として、長崎県障がい者スポーツ指導者協議会から推薦をえた6名を委嘱し、年間を通して活動しました。

・「長崎県障害者スポーツ指導員」をスポーツ・レクリエーション教室等に派遣しました。

(障害者スポーツ普及指導員)・・・10カ所に延べ10名派遣

(人材バンク)・・・・・・・・・・10カ所に延べ12名派遣

(競技指導者)・・・・・・・・・・3カ所に延べ2名及び4団体派遣

【派遣状況計】・・・・・・・・・・14カ所に延べ24名及び4団体派遣

## (2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

障害者スポーツの裾野を広げる取組みとして、地域団体、施設、特別支援学校等を調査し、スポーツ教室の実施を要請されるところに積極的に出向き、スポーツに取り組む楽しさと継続を指導しました。

① 普及研修会の開催状況・・・2カ所 18名参加

・障害者スポーツ・レクリエーション教室を実施していくうえで、指導員等を対象としたスキルアップ研修会を実施しました。

② 普及活動の開催状況・・・・6カ所 約327名参加

・従来のスポーツ教室やイベントの中で障害者スポーツを紹介して、体験していただきました。

③ 普及教室の開催状況・・・・6カ所 168名参加

・依頼があった施設などでスポーツ・レクリエーション教室を行いました。

## (3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

① 団体競技の更なる振興・強化を図るために「競技力向上の支援」を行いました。

## 4. 東京パラリンピック等アスリート特別強化事業（受託事業）

### ◎ 目的

本県在住の、東京パラリンピックやデフリンピックに向けて出場が期待される選手が、JPC加盟競技団体が指定する国内外の各種大会、強化合宿に参加するために必要な遠征等に対して支援を行いました。

### (1) 本年度の支援対象の実績

助成選手名	競技種目	成 果
太田 歩美	卓球競技	第24回パラF I Dジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2021 ・成 績：女子ダブルス決勝トーナメント 優 勝 ・開 催 日：令和3年6月13日（日） ・開催場所：神奈川県立スポーツセンター ・主 催：日本知的障がい者卓球連盟

## 5. 障害者スポーツ振興事業

### (1) 地域スポーツ交流事業

- ・ 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催事業参加人数 延べ65名
- ・ 令和3年度 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催報告

No	開催月日	開催地区	会場	実施種目	参加者
1	7月25日(日)	波佐見町	波佐見町体育センター	ユニカール・ボッチャ フロッカー	15
2	12月14日(火)	対馬市	豊玉町総合運動公園	ボッチャ・フロッカー・ フライングディスク	20
3	3月12日(土)	新上五島町	新上五島町総合福祉センター	ボッチャ	30

※例年約17カ所の地域で皆さんが集い、楽しいスポーツ教室を開催しています。

本年度も開催希望の申請はされたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の状況の厳しい状況が続き、3地域以外の実施はすべて中止となりました。

### (2) 障害者スポーツ指導員養成事業

#### ◆障害者スポーツ指導員(初級)養成講習会の開催

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員制度の規程に基づき開催しました。

- ・ 開催日：令和4年1月16日(日)・22日(土)・23日(日)
- ・ 開催場所：県総合福祉センター・もりまちハートセンター
- ・ 受講者数：18名
- ・ 研修科目：講義【21時間】

	研修科目	時間
1月16日(土)	各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み	1.5
	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	2.5
	障がいのある人との交流	1.5
1月22日(土)	安全管理	1.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	2.0
	障がい者スポーツの意義と理念	1.5
	障がいスポーツに関する諸施策	1.5
	コミュニケーションスキルの基礎	1.5
1月23日(日)	各障がいの理解とスポーツ	6.0
	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5
	合計	21.0

#### ◆障害者スポーツ指導員の育成

- ① 日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員を地域スポーツ教室及び普及事業等への指導者として派遣しました。
- ② スキルアップ研修会を開催しました。
  - ・開催日：令和3年11月20日（土）
  - ・会場：長与町体育館
  - ・参加者：公認指導員39名 一般8名 計47名
  - ・研修内容：指導者協議会と連携し、協会登録の競技団体の協力を得て実施しました。

### （3）障害者スポーツに関する調査研究事業

◆各県及び指定都市が進めている障がい者スポーツ振興の現状や課題、またパラスポーツの動向等の報告を含め、今後のスポーツ振興に関してのビジョン等を共有し情報交換を通じて交流することを目的としています。

- ① 九州ブロック連絡協議会への参加
  - ・令和3年5月24日（月）【オンライン】
- ② ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト第2ステージ  
パラリンピック競技測定会 九州ブロック・福岡会場（測定会スタッフとして参加）
  - ・令和3年12月25日（土） 福岡クローバープラザ
- ③ 中級・上級障がい者スポーツ指導員育成研修会への参加
  - ・令和4年1月29日（土）30日（日）【オンライン】
- ④ 全国障害者スポーツ協議会合同会議への参加
  - ・令和4年2月17日（木）【オンライン】

### （4）障害者スポーツ活動等支援事業

#### ◆令和3年度長崎県障害者スポーツ協会表彰

令和4年2月25日（金）、令和3年度の長崎県障害者スポーツ協会被表彰者の審査会において、永年にわたり本県障害者スポーツの普及・強化にご尽力いただいた1企業及び1名に特別功労賞を3名の方に功労賞を、1名の方に優秀指導者賞を、また、本年度国内の主要な大会で顕著な成績を収めた3名の方に優秀選手賞を授与する推薦を行い、3月17日（木）開催の第3回理事会において承認されました。

#### 【スポーツ特別功労賞】

- ・株式会社 九州ガスホールディングス：高額のご寄贈による
- ・平林 章：アーチェリー競技における永年の功労による

#### 【スポーツ功労賞】

- ・池田 篤：水泳競技における永年の功労による
- ・飛口 廣：地域スポーツにおける永年の功労による

・森山恵利子：卓球競技における永年の功労による

【スポーツ優秀指導者賞】

・野沢 邦彦：陸上競技の指導における永年の功績による

【スポーツ優秀選手賞】

・太田 歩美：【三菱重工】（卓球競技）

第24回パラF I Dジャパン・チャンピオンシップ2021

・堀江 大紳：【長崎南山高校】（水泳競技）

第38回日本パラ水泳選手権大会

・臼木 大悟：【県立希望が丘高等特別支援学校】（陸上競技）

第76回九州陸上選手権大会

### （5） 広報・公聴事業

#### ① 協会だより等の発行

・協会だより 31号、32号を発行（各1, 500部）

・ホームページの随時更新及び3月末に、リニューアルしました。

#### 主な内容

1. 県大会・全国大会・東京パラリンピック等に関する情報、報告など
2. 登録団体の活動情報、報告など
3. 地域における障害者スポーツの情報、報告など
4. 各種のお知らせ

#### ② 各種報道機関に障害者スポーツ選手の情報提供

地元報道機関に積極的に障害スポーツの情報を提供し、多くの県民に障害者スポーツ選手の活躍状況を周知しました。

## IV. 物品販売事業の推進（福祉販売）

本協会は障害者スポーツの振興による障害者の社会参加促進に取り組んでおり、自己財源確保及び本協会正会員団体の活動費を確保するため、福祉販売に取り組みました。

### 売り上げ実績

【単位：円】

販売団体	総売上額	団体販売手数料	協会手数料
会員23団体	2,434,000円	607,700円	743,960円
スポーツ協会	298,500円	—	167,300円
計	2,732,500円	607,700円	911,260円

※協会手数料には商品代の消費税等を含む

## V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

障害者スポーツ振興助成要綱に基づき申請された、5団体5事業に対し、各種大会への派遣事業及び開催事業に助成しました。

## VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」

### (1) 報告

#### ① アスリート活動

卓球競技、知的バスケットボール競技強化指定選手の強化合宿参加経費等を助成しました。

#### ② 団体競技活動支援

「全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会」出場に向けての練習会等に対して助成しました。

#### ③ 全国大会派遣選手団活動助成

全国大会に派遣する各選手等へ強化練習会時の活動助成をしました。

#### ④ 九州ガスホールディングス杯2021長崎県障がい者ボッチャ大会開催

令和4年3月12日(土)開催で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から開催を中止としました。

#### ⑤ 競技用具購入

地域スポーツ振興の為、競技が盛んなボッチャ競技の用具(審判具、ボールセット等)を購入しました。

#### ⑥ 広報活動の取り組み

広報活動の取り組みとしてホームページをリニューアルしました。

### 「テーマ募金」活用助成金内訳

【単位：円】

	助成事業名	事業総経費	テーマ募金
1	アスリート活動	330,000円	330,000円
2	団体競技活動支援	270,000円	270,000円
3	全国大会派遣選手団活動助成	51,000円	51,000円
4	九州ガスホールディングス杯 2021長崎県障害者スポーツ大会開催準備	57,915円	57,915円
5	ボッチャ競技等用具購入他	183,513円	183,513円
6	広報活動の取り組み	68,293円	68,293円
	計	960,721円	960,721円

### (2) 取り組み

令和3年度赤い羽根募金(令和4年度助成)テーマ募金(使途選択募金)へ昨年に引続き参加した。多くの方のご理解とご協力を得て、初期の目標額を達成しました。

事業名：障害者スポーツ普及強化事業

活動概要：・国内外の主要大会・合宿等に参加するトップアスリート及びコーチ、介助者への活動支援



- ・団体競技の強化支援や全国障害者スポーツ大会に参加する選手団への活動支援
- ・障害者のスポーツ活動の場を広げる大会の開催
- ・地域における障害者スポーツ啓発活動の促進事業推進
- ・障害者スポーツ競技に必要な用器具の補充購入
- ・九州ブロック地区予選会開催（3競技）

募集期間：令和4年1月1日（土）～3月31日（木）

目標額：1,000,000円

募金額：1,694,968円（70件）

（参考）：1,558,214円（45件）昨年実績

## Ⅶ. その他の事業

### （1）障害者スポーツ協会・賛助会員の増員について

本協会の組織強化、事業充実を図るため、自己財源確保を目的に賛助会員の増員に取り組みました。

#### ◆令和3年度の賛助会員数

- ・団体賛助会員・・・・・・・・・・31【7団体増】
- ・個人賛助会員・・・・・・・・・・629【106名増】

（内：特別支援学校12校：589名の教職員）

### （2）障害者スポーツ用具の貸し出しについて

本協会管理のスポーツ用具を貸し出し、障害者スポーツの普及に役立てました。

競技用具	借用回数	借用団体
ボッチャ	22	長崎医療こども専門学校ほか
卓球バレー	2	こころ医療福祉専門学校
フライングディスク	2	県立希望が丘高等特別支援学校ほか
グランドゴルフ	1	長崎市手をつなぐ育成会
フロッカー	6	こころ医療福祉専門学校
ラダーゲッター	5	こころ医療福祉専門学校
ジャベリックスロー	1	長崎陸上競技協会
車いす（競技用）	2	長与町福祉協議協会ほか